

## 大学入試数学 実戦演習 第25回

- あるスポーツの大会で、参加した  $n$  個のチームは次の方法(リーグ戦形式)で順位を争う。  
すなわち、どのチームも他の各チームとそれぞれ1回ずつ試合を行い、勝ち数の大小によって順位を決めるものとする。今年の大会では、引き分けが1回も起こらず、また同順位のチームがなかったという。このとき、どのチームもそれより下のチームには必ず勝っていることを証明せよ。
- 点  $(0,1,3)$  を通り、球  $x^2+y^2+(z-1)^2=1$  と接する直線の全体を考える。  
(1) 直線と球の接点の全体は1つの平面上にある。この平面の方程式を求めよ。  
(2) これらの直線が  $xy$  平面と交わる点の全体は、 $xy$  平面上の曲線となる。この曲線の方程式を求めよ。
- 整数を係数とする3次式  $f(x)$  が次の条件(\*)を満たしている。  
(\*) 任意の自然数  $n$  に対し  $f(n)$  は  $n(n+1)(n+2)$  で割り切れる。  
このとき、ある整数  $a$  があって  $f(x)=ax(x+1)(x+2)$  となることを示せ。
- 整数  $p$  を  $a$ 進法,  $b$ 進法,  $\frac{a+b}{2}$ 進法 ( $a, b$  は2以上の整数で偶奇が一致し  $p \geq \frac{a+b}{2}$ )  
で表したときの桁数をそれぞれ  $l, m, n+1$  とすると  $\frac{1}{l} + \frac{1}{m} < \frac{2}{n}$  であることを示せ。
- 複素数平面上で、 $\triangle ABC$ の頂点を表す複素数を  $\alpha, \beta, \gamma$  とする。条件  
(i)  $\triangle ABC$ は1辺が $\sqrt{3}$ の正三角形である。  
(ii)  $\alpha + \beta + \gamma = 3$   
(iii)  $\alpha, \beta, \gamma$  は絶対値1で、虚部は正  
が成り立つとき、次の問いに答えよ。  
(1)  $z = \alpha - 1$  とするとき、 $\beta, \gamma$  を  $z$  を用いて表せ。  
(2)  $\alpha, \beta, \gamma$  の偏角を求めよ。(ただし  $0^\circ \leq \arg \alpha \leq \arg \beta \leq \arg \gamma < 360^\circ$ )
- $n$  を自然数,  $0 < a < b$  とする。 $n+2$  個の正の実数  $a, c_1, c_2, \dots, c_n, b$  がこの順に等差数列をなし、 $n+2$  個の正の実数  $a, e_1, e_2, \dots, e_n, b$  がこの順に等比数列をなすものとする。  
(1)  $c_1 c_n$  と  $e_1 e_n$  のどちらが大きいか理由とともに答えよ。  
(2)  $c_1 + c_n$  と  $e_1 + e_n$  のどちらが大きいか理由とともに答えよ。  
(3)  $i=1, \dots, n$  について、 $c_i$  と  $e_i$  のどちらが大きいか理由とともに答えよ。

## 大学入試数学 精選問題演習 第3回

- $n^4+4$  が素数であるような自然数  $n$  を全て求めよ。
- 底面の半径が  $r$ 、高さが  $h (>10)$  の円錐に半径5の球が内接している。
  - $r$  を  $h$  を用いて表せ。
  - この円錐の表面積を最小にする  $h$  の値を求めよ。
- $n$  を3以上の整数、 $a, b, c$  は1以上 $n$ 以下の整数とする。
  - $a < b < c$  となる  $a, b, c$  の組は何通りあるか。
  - $a \leq b \leq c$  となる  $a, b, c$  の組は何通りあるか。
  - $a < b$  かつ  $a \leq c$  となる  $a, b, c$  の組は何通りあるか。
- $\triangle ABC$ に関し、次の等式を証明せよ。
  - $(b - a \cos C) \sin B = (c - a \cos B) \sin C$ .
  - $\cos A + \cos B + \cos C = 1 + 4 \sin \frac{A}{2} \sin \frac{B}{2} \sin \frac{C}{2}$ .
  - $\sin^2 A + \sin^2 B + \sin^2 C = 2 + 2 \cos A \cos B \cos C$ .
- 実数全体を動く  $a$  に対し放物線  $C: y = -x^2 + 2ax - a^2 + a + 1$  を考える。
  - $C$  と放物線  $y = x^2 + \frac{1}{2}$  の2つの共有点を結ぶ線分の midpoint (共有点が1つの場合にはその点自身とする) が描く軌跡の長さを求めよ。
  - $y \geq x^2 + \frac{1}{2}$  の表す領域のうちで  $C$  が通過する部分の面積を求めよ。
- 曲線  $y = e^x$  上の点  $P$  と円  $(x-1)^2 + y^2 = \frac{1}{4}$  上の点  $Q$  とを結ぶ線分  $PQ$  の長さの最小値を求めよ。